



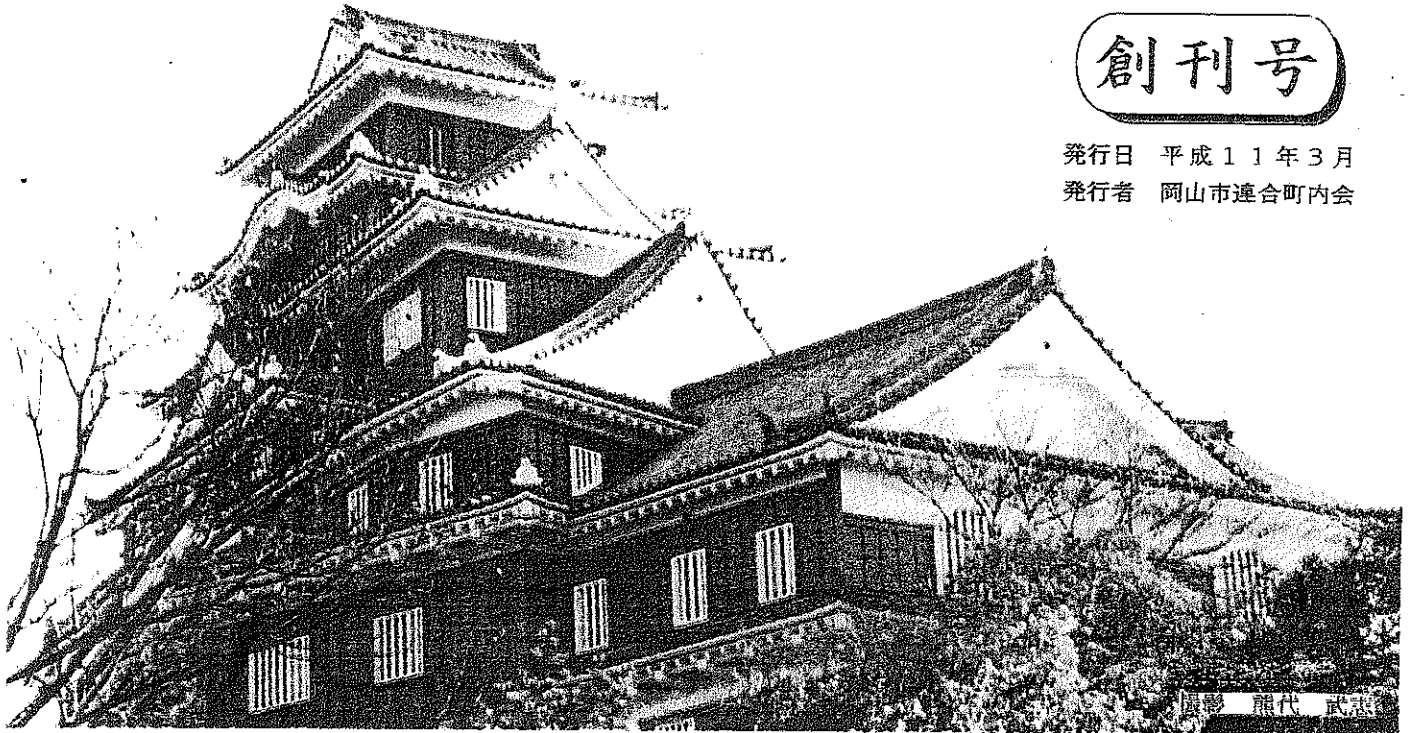
おかやま連町だより

題字 兼松 久和

創刊号

発行日 平成11年3月

発行者 岡山市連合町内会



撮影 龍代 武志

創刊にあたり

岡山市連合町内会会長

兼松 久和



平成9年は岡山城築城四百年にあたる記念の年となり温故知新の観点から多彩なイベントが市内各地で展開され輝かしい歴史と伝統に培われた郷土岡山は大賑わいとなりました。

平成10年は岡山市第四次総合計画のスタートの年であり昨年決定された総合支所の所管区域に配慮しながら市域全体の均衡ある発展とそれぞれの地域の活性化が望まれるところでもあります。

文字通り新しい岡山のまちづくりの出版であります。

このような節目の時代こそ包括的住民組織である岡山市連合町内会の果たすべき役割も益々大きくなるものと思われまます。

今後ともお互いに切磋琢磨し市と連携を密にし、市民の福祉増進を期し、岡山市の発展に寄与して参りたいと思ひます。

このたび広報活動のより一層の充実を期して「おかやま連町だより」の創刊にあたり会員各位のご活躍とご健勝を祈念いたしましてご挨拶といたします。

浅春のみぎり、会員各位におかれましては住民自治連合組織の長として地域活動の推進と住民自治の発展に縦横滅私のご活躍をいただきますとともに岡山市連合町内会の運営につきましても格別のご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

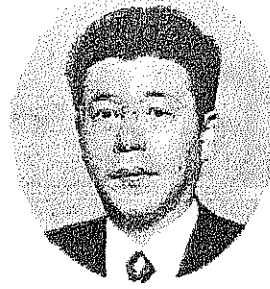
さて、当連合会も昭和38年発足以来、長期にわたり保守的排他的色彩が強い仲良しクラブ的組織でありました。平成5年の規約改正により「開かれた連合町内会・自主性をもって行動する連合町内会」へと近代化の道歩んでまいりました。

一方では平成8年岡山市は中核市となり中四国地方の拠点都市としてその位置づけが明確になりました。

創刊のお祝い

岡山市長

萩原 誠 司



するものであります。

21世紀を目前にした今日、急速に進展する少子・高齢化、高度情報化や国際化という時代の潮流の中で、市民一人ひとりが安心して心豊かに暮らすことができるまちづくりを進めていくことが求められております。

岡山市連合町内会は、昭和38年2月に結成されて以来、崇高なボランティア精神のもと、地域住民の福祉の向上と地域の発展を目指して、市政の各般におきまして格別のご尽力とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、「開かれた連合町内会・自主性をもって行動する連合町内会」を推進する観点から、この度、広報紙「おかやま連町だより」を創刊されましたことは誠に時宜を得た取組であり、心から敬意を表

岡山市議会議長
花 岡 薫



「連町だより」創刊にあたり市議会を代表して、心よりお喜びを申し上げます。

岡山市連合町内会の皆様方には、平素より住民と行政とのパイプ役として、地域社会の発展と住民福祉の向上に、多大なるお力添えを賜っておりますことに対しまして、衷心より厚く敬意と感謝の意を表します。

また、市議会だよりの単独発行に際しては、皆様方にはその配布等で特段のご理解を賜り、着実にその定着を図ることができました。重ねてお礼を申し上げます。

円滑な市政の推進と市民参加の街づくりを進めるため

には、地域のリーダーであります連合町内会の皆様のお力添えが欠かせないことは言うまでもございません。

岡山市連合町内会におかれましては、これまで以上のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、さらに結束を強められまして、より一層の飛躍を遂げられますよう祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

学区の動き 中心部のまちづくり

石井学区連合町内会長
青 地 剛

現在、岡山市中心部を見た時、特に空洞化が著しく岡山の勢いが無い。対策として都市機能を充実し、魅力アップが先決

検討が必要でしょう。特に欠けている交通、商業、経済、観光等の充実が欠かせないのでは。

各商店街の活性、復活、観光面の受皿作り、空地のインパクトや集客性のある諸々の施設への転換などにより、街が点在でなく線、面で連携して集客性を高める様にこれ以上放置、低落してはいけません。他都市はそれなりの施設ができています。街の美化の点も考え、人に不快感を与えないように。例えば柳川・大雲寺の交差点も整備し、又放置自転車対策もしかり、バス路線も見直し、住民の利便もアツプすれば解消できるのでは。

三代目交流ホタル祭り

高島学区連合町内会長

今井好夫

駅東西の一体化により総合的な都市形成の街づくりとなるものと思う。

中心部が活性することにより地合いが整い集客性もあがり、岡山市が充実し、光り輝く魅力が発揮できるものと確信する。

一帯は多くの自然がそのまま残っている情景にある。この地域に居住する高島・旭竜両小学校区の住民は、自然の中に生きるホタルを通じて、子どもへの情操教育にも役立て、自然に親しみを持ち、自然を守ろうとする意識を高めようと、加えて、住民相互のふれあいと交流を図ろうと、両学区共催の「ホタル祭り実行委員会」を結成するに至る。

爾来、関係機関のご指導、ご協力を仰ぎつつ、特に旭川周辺町内会によるテント設置等を始め、各種団体の並々ならぬご尽力を戴きながら、年一回5月末前後に地域上げてのホタル祭りを開催し、既に七回を迎える事ができた。今ではこの祭りもすっかり年中行事として定着し、楽しいホタル祭りとして皆さんから愛され、地域内外から大勢の来場があり盛況を呈している。

イベントとしては、新鮮な緑がいっぱいの百間川河川敷に整備された「ホタルの里グランド」において、小学生の開会ファンファーレに始まり子ども会、老人会による道額の展示、両学区町内会、婦人会による多数の模擬店、又、カラオケ、民謡の披露、時にマーチングバンド演奏など、各種協賛行事により、ホタル祭りは年々、大いに盛り上がって来ている次第である。

そして、日暮れともなれば川端に飛び交うホタルを、皆さんでゆっくりと觀賞され、放つ光に喜々とした子どもたちの声を聞きながら、自然の恩恵を満喫され、そして自然の大切さを改めて認識して戴き、益々参加者相互のふれあいと親睦が深められていくところである。

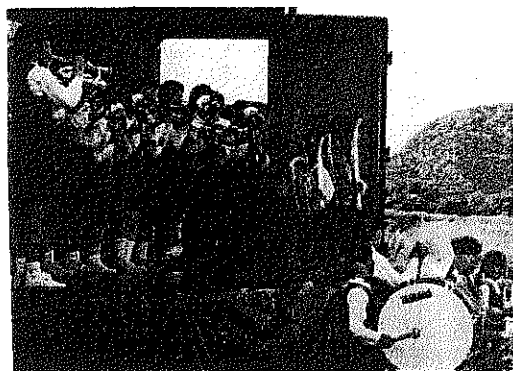
近年は、自然環境を守ろうという声が各方面で重要課題となってきたが、私達は先ず身近な環境から守ってゆき次世代に送り継がなくてはなら

ないと考えている。ここに私たち両学区共催によるホタル祭りが自然環境保護に繋がる有意義な行事となって来た事は偏に関係者各位のご理解、ご協力による賜ものと心から感謝いたし、地域活動の一環として、ご披露する。

私たちが地域は、「竜ノ口」山麓周辺より南に広がる平野部に位置し、備前国府跡等の由緒ある遺跡が各所に点在しており、西方に旭川の清流が見られる、自然環境に恵まれた処である。

そして、その自然の下に天然記念物に指定された淡水魚の「あゆもどき」も棲息し、又、昔ながらの「ホタル」も飛び交っており、まだまだこの地域

私たちが連合町内会は、二十



西大寺地区連合町内会

西大寺地区連合町内会長

森本 享

私たちの連合町内会は、二十

その区域は、江戸時代の西大寺村、明治、大正時代の西大寺町の区域と一致している。昭和28年、近隣の村を合併して西大寺市となり、昭和44年岡山市と合併して今日に至っている。

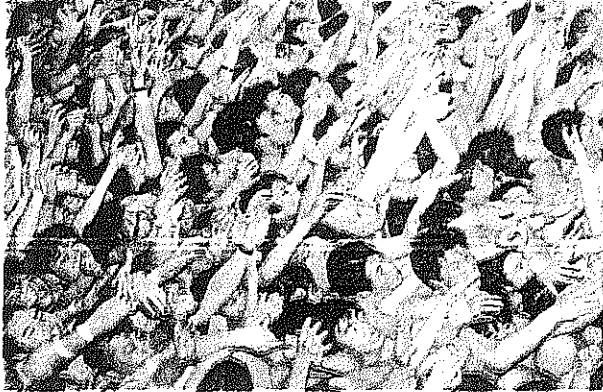
会陽で名高い西大寺は、奈良時代に創建された真言宗の寺院で、数々の院が存在していたが、現在は観音院のみとなっている。会陽の行事は、修正会にその源があり正月1日より十四日間続く祈願の結願の日に護符を配布していたが、希望者が多いため室町時代の末、投与方法に変わり、さらに宝木に変わって取主、祝主の制度になり現在に至っている。

寒夜に水垢離をした大群集が「ワッショイ」の掛声とともに大床に集まる光景は、ダイナミックで独特の雰囲気をかもし出している。参詣客が多数で、境内はもとより、町中人が溢れ、町の繁栄のもとになった。現在は「裸祭り」の

名のもと毎年2月第3土曜日
に実施されており、本年は
2月20日夜執行われた。

「観音詣り」と称して、人が
多く集まり、鎌倉時代の終りこ
ろには、寺の境内に座が設けら
れて、魚、酒、饅頭、筵などの
市が開かれていた記録がある。

また、吉井川を上下する高瀬
舟による交易も大きなもので、
下り荷は薪、木炭などの燃料が
主で、上り荷は西大寺の商店で
求められる日用雑貨であった。



石の運搬にあたったが、昭和の
初期にその姿を消した。

町の近代化は、二十世紀初頭
急激に進み、郵便局、税務署、
銀行、会社（製糸・製紙）、軽
便鉄道などの諸施設が整った。

教育の振興は常に重視され、
金山の麓に、保育所、幼稚園、
小学校、中学校、学芸館高校が
並び学園を形成している。

近年、経済界の地盤沈下を
再生、振興するため、岡山市の
副都心の自覚をもち、文化学園
公園都市の実現に向けて活動し
ている。

わがまちの防災

山 寛
芳明学区連合町内会長

つながっている温暖なところ
で気候に恵まれた比較的災害
の少ない都市である。

また、市内には日本三名園
の一つに数えられる後楽園
があり、かたわらにそびえる
岡山城を中心とした城下町
として発展してきた。

災害の歴史で、風水害では、
昭和9年室戸台風、昭和20年
枕崎台風、また、去年10月
の台風10号によって大きな
被害を被っている。地震では、
昭和21年の南海地震が南部
河口付近の地域に震度6の
大きな被害をもたらした記録
がある。阪神大震災では市内
で震度4を記録している。

岡山市では、阪神大震災
を契機に今まで風水害対策
中心であったが、地域防災
計画の全面見直しを行い、
多種多様な対応が求められる
震災に対し、独立した大震災
対策が策定されている。

大規模災害発生時に、二十四
時の情報収集、救援物資の緊急

時間体制で活動する岡山市消防
局は、市民の安全を確保する
ためには欠くことのできない
存在であるが、道路損壊や土砂
崩れの応急対策、救護所での応
急救護、被災者への衣食の救援
など、行政が一丸となって取り
組む対策が求められて、突発的

な災害発生に対して、被害情報
の収集、応急対策の実施等、緊
急初動班が組織されている。
「災害に強いまちづくり」
のためには、災害発生時に
市民の安全を確保し、迅速で
的確な対応が図れるよう、防災
ボランティアリーダーや岡山
市内各学区の防災委員会を
はじめ自主防災組織の育成等
に努め、平時には防災の啓発
教育にあたり、大規模災害
に備えておく必要がある。

阪神大震災を教訓に平成9年
4月岡山市消防航空隊が発足
し、消防ヘリコプターの運用が
開始された。人命の救助や災害
開始された。人命の救助や災害

救援物資の緊急

輸送、救急搬送業務などさまざまな防災活動における消防ヘリコプターの力強い味方が加わり活躍している。

「備え有れば憂無し」市民も地域で行われる防災訓練等に積極的に参加して防災意識を高め、さらにその輪を広げて、阪神大震災で得た教訓をいかし、「のどもと過ぎれば熱さを忘れる」ことのないように、わがまちを守る防災意識を根付かせたいものである。

歴史と文化の薫る街

吉備学区連合町内会長

熊代 武志

吉備学区は岡山市の中央西部に位置し西隣りは用水路を挟み倉敷市と境界を接し、中央部を山陽新幹線を始め山陽線、伯備線と旧鴨方往來道、旧2号線、新幹線側道等の交通

網の大動脈が横断し超交通停滞を招き限界を呈している。

昭和46年6月岡山市に合併した当時の三千二十九世帯、一万九千人が、平成10年11月現在九千五百九十五世帯、二万六千人と増大化の一途にあり、新旧住民との違和感と疎遠を僅かも解消するよう、各種団体、組織を通じ活性化事業に取組んでおり、その主な事業は次の通りである。

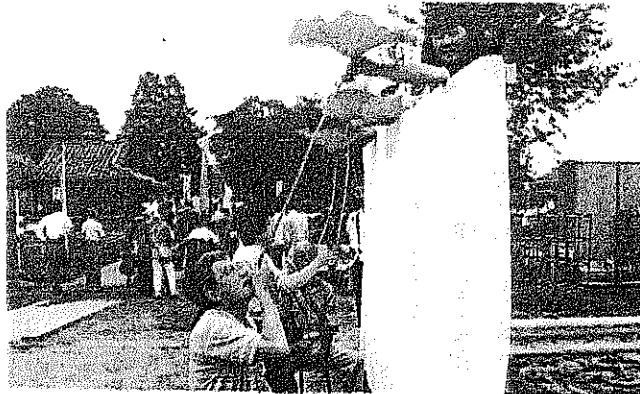
一 話せばわかると名訓を残し銃弾に倒れた犬養毅元首相(木堂)の命日には毎年墓前祭を催し、小学生から一般の皆様のお参りを戴き遺徳を偲んでいる。昭和54年6月には文化庁、県の助成により生家を復元落成し、平成5年には木堂記念館が新設開館され県文化財団が管理運営(毎週火曜日休館)にあたり、多数の遺品が観賞できるとともに、名士、学会の方々の講演会、小・中・高校生の書道

展、お茶会等の行事が多種に亘り開催されている。本年の命日5月15日には庭瀨城、撫川城の築城400年前々年度を記念して、犬養木堂遺墨展を吉備公民館で開催し、軸・色紙等の貴重品を多数展示するよう企画準備中である。

二 二千年蓮の発見発芽に成功した世界的権威者で名声高い大賀一郎博士の生誕地を全国へPRし遺徳を忍ぶため、平成9年から庭瀨城跡公園堀の一部を浚渫整備して大賀蓮を移植した。試行錯誤しつつ2年を経過し、開花数も増加して、7月中旬頃が盛花期となり誠に優雅で素晴らしい限りである。一度ご観賞をお奨めしたい。

また、協賛事業としては象鼻杯と称し、蓮の茎と葉を活用して酒、ジュースを上から注入したものを吸引する。珍味で、これも新趣向として好評を得ている。

本年は庭瀨城、撫川城跡公園の整備計画中であり、地域住民の永年の夢と願望であり早期着工完成が期待されている。



津島学区連合町内会

津島学区連合町内会長

梶原 昌一

一 学区の紹介
人口約一万二千人、旧市内

の西北部に位置し、半田山山系を背にした地域で、六つの町内会があります。学区内には、岡山大学、岡山商科大学の二つの大学があり、すぐ隣にも岡山理科大学がある文教地域で、学生の街といえます。

一方、近隣商業地域もあり岡山空港や山陽道等にアクセスする国道53号線や県宮総合グラウンドに隣接するなどバラエティに富んでいます。さらに自然も豊かで、交通の便がよく、余暇を楽しく過ごせる場所も多い等なかなかの所です。

しかし、御多分にもれず急速に高齢化が進んでおり、お互いが助け合う運動を展開するなど対策の具体化が急がれています。

また、公共下水道が数年中に整備されるということで、学生マンション以外の公務員住宅とか社宅、家族マン

シヨンなどの一層の整備により、学区の若返りが望まれています。

二 連合町内会とコミュニティ協議会

十三年前のコミュニティ協議会の発足により、両会の役割りを明確にしました。

連合町内会は、純粹に単位

町内会の連絡協議機関とし、学区全体の意志の実現等いわゆるソフト面の役割を持つこととしました。

一方、コミュニティ協議会は、学区の各種団体が協同して実践活動（各種事業）を行うことをその任務としています。

三 コミュニティ協議会の主催事業

一般的にいつて、従前から各町内会は、「夏祭り」「盆踊り大会」「敬老会」「秋祭り」「運動会」等々のいくつかを単独で催していますが、学区全体としても各種団体の

協力により、主催事業として「新年互礼会」「盆踊り大会」「文化祭」を恒例的に開催し、かつ、「グラウンドゴルフ大会」「カラオケ大会」「ボウリング大会」「バスツアー」「囲碁大会」等を随時開催しています。

さらに、各種団体独自の事業、たとえば、体育協会主催の運動会やPTA活動についてもできるだけ支援するようになっています。

岡山市連合町内会の動き

会誌「自治生活」

町内会活動

・定期総会・表彰式

5月28日

・大津市・岐阜市

8名参加

・正副会長会

7月17日

・津島市

9月8日、9日

・常任理事会

4月16日

・富山市

7名参加

6月18日

11月30日

・富山市

7名参加

2月23日

3月25日

・富山市

10月9日、10日

・役員会

5月8日

・奈良市

10名参加

9月14日

12月22日

・奈良市

10月30日、31日

・会計監査

5月6日

・奈良市

10月30日、31日

・中心部会長懇談会

11月16日

・奈良市

10月30日、31日

・編集委員会

12月16日

・奈良市

10月30日、31日

・役員懇親会

12月22日

・奈良市

10月30日、31日

・新春互礼会

1月8日

・奈良市

10月30日、31日

・岡山県自治会等連合会結成推進委員会

4月13日

・奈良市

10月30日、31日

・全国自治会連合会理事会

3月11日

・奈良市

10月30日、31日

・糸満市区長会

8月20日

・奈良市

10月30日、31日

・視察団の受け入れ

10月23日

・奈良市

10月30日、31日



・静岡市

56名参加

11月18日、19日

・住民自治組織について

・集会所補助金制度について

・県連組織結成について

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

・富山市

岡山市連合町内会副会長
岩田 章